

仮設都市

Temporary city



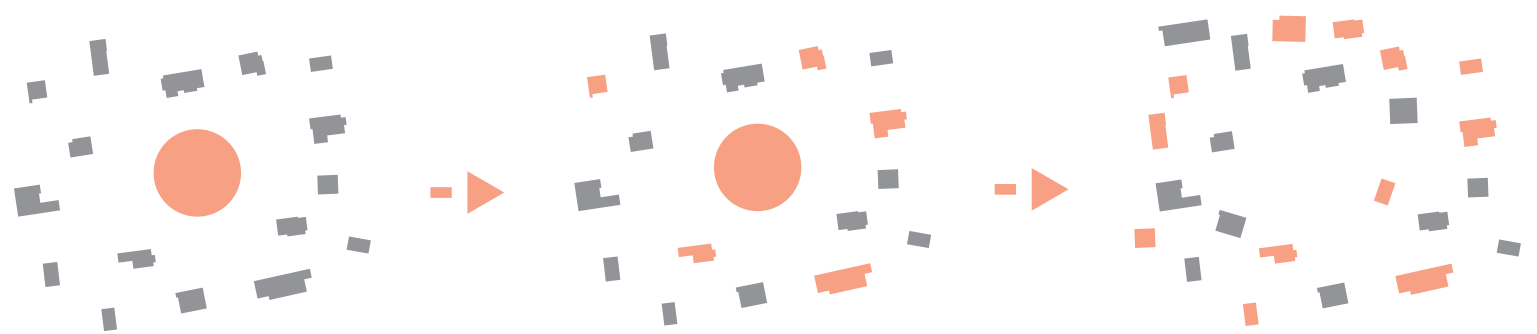
Possibility of temporary

城下町の発展は城を中心に周りが発展していき、現在の都市に至る。しかし、現在では城は機能を失い、城下町だけが残り今の都市へと繋がっている。こういった視点から考えると城は仮設的なものだったものではないだろうか。



Detonator for the city

昔の城というのは、人口の中心であり政治や経済、文化の流動の核となる場として考えると、現代においては国会のようなものだと思う。そこで国会を人や経済、文化を流動する中核と成す場として仮定し、そこを仮設的に地方の県庁所在地に移動する。



Relocation destination example

佐賀県佐賀市天神3丁目2
どんだんどの森
敷地面積 431.4 km²
図書館と生涯学習センター



- 都市部
- 主要インフラ
- 緑地



Diagram

仮設議事場は政治を行う場としてハードな側面を持っているので、周りに公共施設を置くことでソフトな面で囲うことで元々住んでいる住人と新しく移動してきた人々を繋げることを懸念しています。具体的な内容は簡易的な仮設議事場を中心に、サークル上に常設を巻き付けます。常設には既存の敷地にあった公共施設の機能と仮設議事場と共に移動してきた国立による文化施設の展示作品や蔵書を少しずつ移転して文化の移動を可能にします。

Temporary Hall

Structure

Roof

Wall

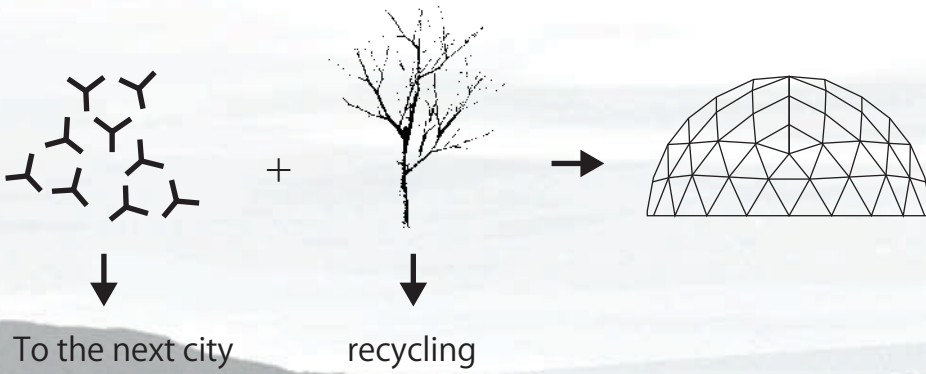
3F Floor

2F Floor

1F Floor

Temporary Hall

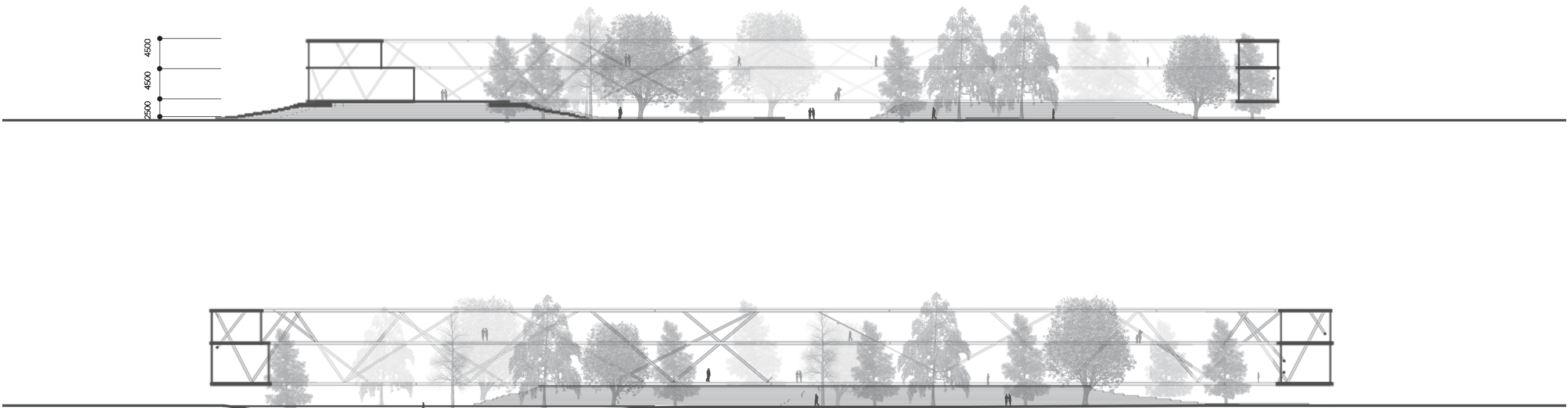
仮設の部分はジョイントだけを移動し、次の都市にある地場産の材料でフレームを作りフラードム構造で成り立たせる。解体するときは材料は家具などにリサイクルし、ジョイントだけ持ってまた違う都市へ移動する。



Plan view



Cross section



Decades later 1

都市が潤い、仮設議事場が次の場所へと移転した後、残った空間は広場と変化し新しい都市の中心とし続ける。

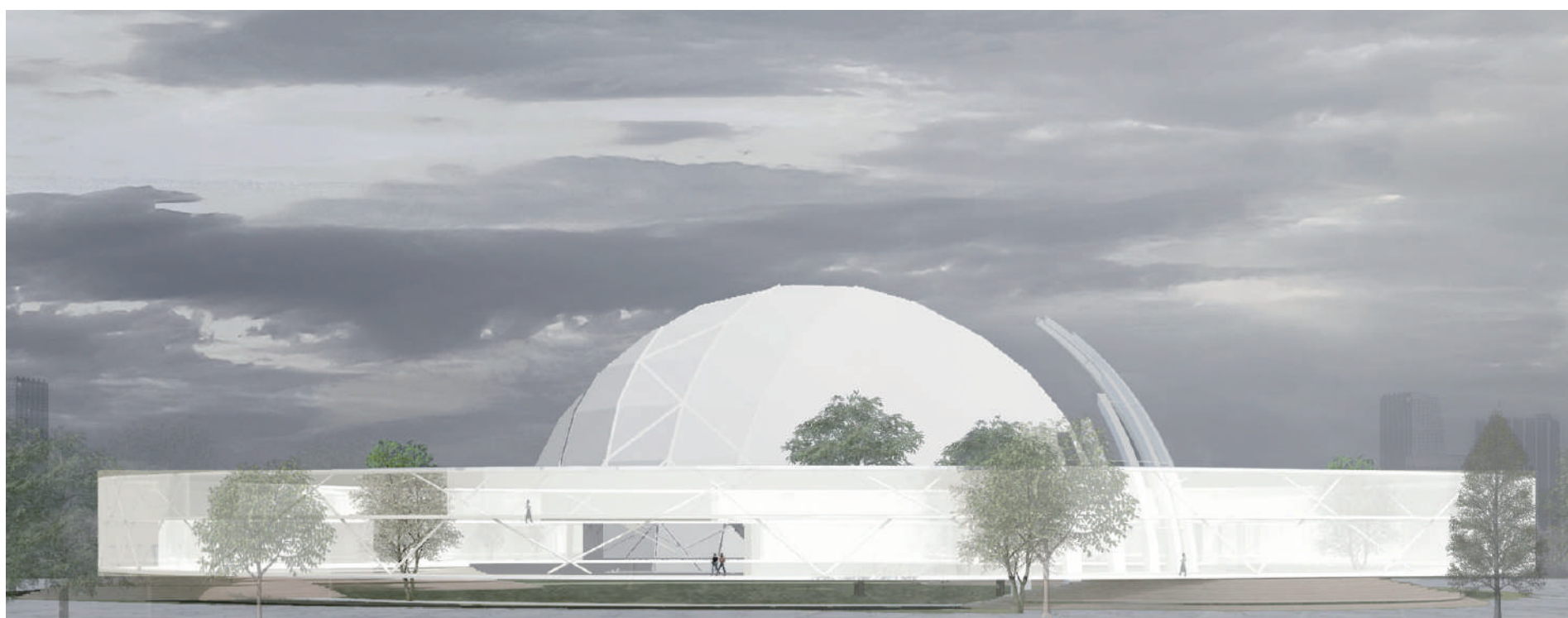


Decades later 2

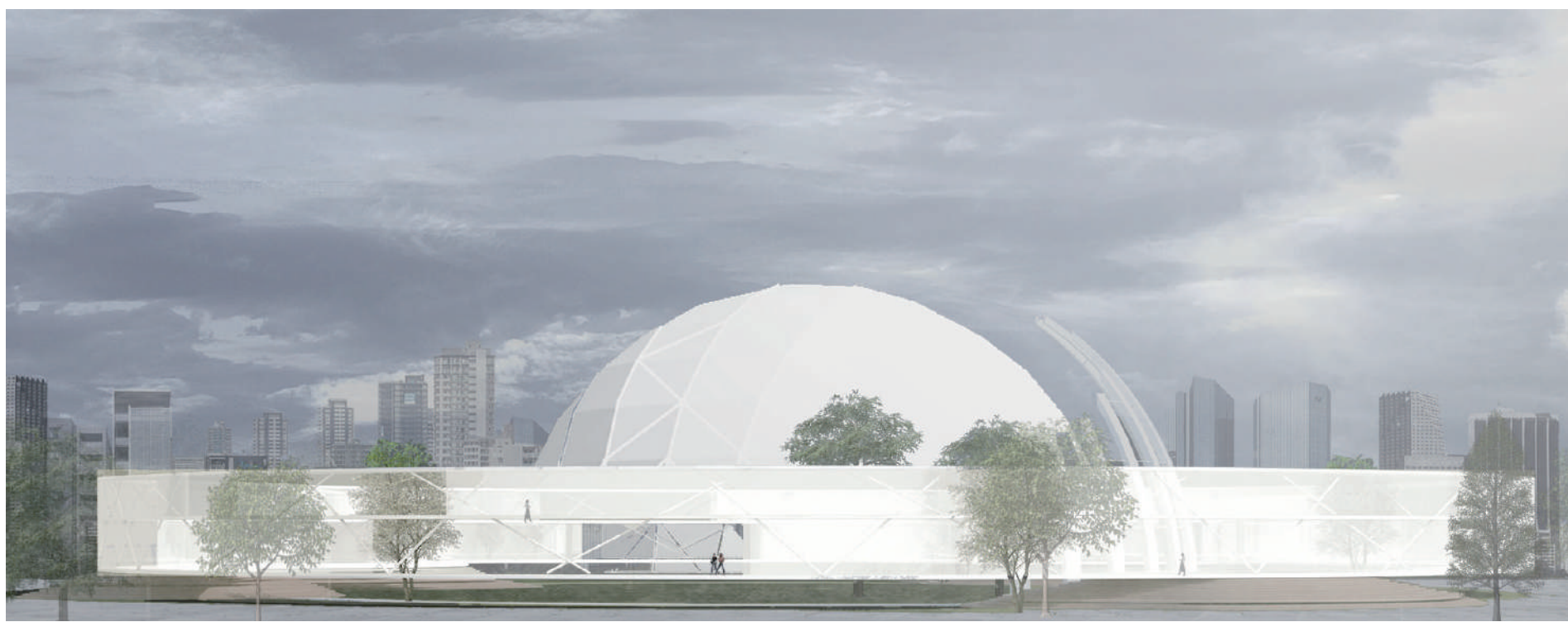




Changing city



A few years later



Decades later

